

社会科学習指導案

1 単元 日本列島の誕生と大陸との交流

2 単元設定の理由

(1) 教材観

①学習指導要領上の位置づけ

[知識及び技能]

- (1) ア (ア) 世界の古代文明や宗教のおこり
 - (イ) 日本列島における国家形成
 - (ウ) 律令国家の形成
 - (エ) 古代の文化と東アジアとの関わり

[思考力、判断力、表現力等]

- (2) イ (ア) 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流、政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどしてアの(ア)から(エ)までについて古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。
 - (イ) 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

②単元の価値

日本における縄文時代の狩猟・採集中心の生活は、東アジアとの深い関わりの中で伝わった稲作の技術や金属器の伝来によって、大きく変化していった。本単元では、その変化の様子を示す歴史的事象を、遺跡や歴史的遺物などの考古学的な諸資料を基に比較したり関連付けたりすることで、根拠に基づいた考察をさせることができるとともに、東アジアの国々が日本に与えた影響が、現代の生活にどのような影響を与えているのかに注目して学習を進めることで、歴史の学習が現代との関わりをもつということに気付かせ、持続可能な社会を構想する力を育成することできるため、本単元を学習する意義は大きい。

③単元の系統性

- ・「世界の古代文明と宗教のおこり」では、古代文明の共通点と相違点を中心に捉えさせ、特に中国文明については、日本の歴史とのつながりと与えた影響についてさまざまな資料を基に考察した。
- ・「古代国家の歩みと東アジア世界」では、「日本の古代国家は何によって築きあげられたのか」を課題とし、大陸の影響を受けながら日本が律令国家に成長していく過程を多面的・多角的に考察し、理解を深めていく。

(2) 生徒観 (男子 17 名、女子 17 名 計 34 名)

①既習の学習内容や活動

- ・小学校社会科において縄文文化や弥生文化、卑弥呼による国づくりや古墳時代について学習している。中学地理の学習では、日本が東アジアに位置し、歴史的・文化的に大陸と深い関わりがあるということ学習してきた。

②本単元に関わる生徒の実態

- ・知識及び技能について、日本の古代国家がおこる背景には東アジア世界の影響が大きく関わっているということを述べられた生徒は少なかった。中国に進んだ文明が存在していることは知っていても、それが日本にどのように影響したのか、関連付けて理解しているとは言えないことが分かる。
- ・思考力、判断力、表現力等について、縄文時代と弥生時代の違いを述べさせたところ、「弥生土器を作った」「稲作の始まり」「国の始まり」といった答えがほとんどであり、「稲作が始まったことによって煮炊きをする道具として土器を用い、米を奪い合って争いが起きた結果、大きな国が誕生した」と根拠に基づき事象を関連付けて答える力が身につけていないことが分かる。

(3) 指導観

- ・「振り返りシート」を活用して時代のつながりを意識させるとともに、複数の資料を比較させたり関連付けたりさせることで、背景にある事象を根拠に基づき多角的に考察できるようにする。
- ・追究する過程では、複数の意見を吟味・検討することで自分の考えを更に深めさせるため、小グループでの話し合い活動を取り入れ、意見の深化を図れるようにする。

3 単元目標

日本の国家が形成されていく過程について様々な資料を基に多面的・多角的に考察することを通して、日本の社会が東アジア世界の動きを背景に変化していったことを理解することができる。

4 指導と評価の計画（別紙参照）

5 本時の展開（2/5）

(1) 目標

縄文文化と弥生文化を諸資料から比較し、その変化の様子について考察することを通して、大陸との関わりを背景に変化していった弥生時代の社会や生活の特色を理解することができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 前時の振り返りから、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狩猟と採集だけで生活が成り立つのだろうか。 ・どのように稲作が始まり、広がったのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りシートをもとに前時の授業を振り返らせる。 ○弥生時代のイラストを提示し、本時の課題を導く。
<p>課題：稲作の始まりにより、人々の生活はどのように変わっていったのだろう。</p>	
<p>2 資料から縄文・弥生の生活の変化を読み取り、「むら」から「国」へ発展していく過程を考察する。</p> <p>○教師が提示した縄文、弥生時代の生活の様子イラストを比較し、違いについてグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田がある。稲作が始まっているね。 ・高い建物ができている。食料が入っているのかな。 ・稲作に使う新しい道具が発明されているよ。 ・稲作を指導しているのは、どんな立場の人なんだろう。 <p>○稲作や金属器の伝来によって起きたと考えられる変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料をめぐる争いが起きるようになるよ。 ・金属器は武器として広まっていったんだね。 ・勝ったむらはどんどん大きくなっていけるよね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○縄文時代と弥生時代の生活の変化を根拠に基づいて話し合わせるために、教科書のイラスト資料を提示して比較させる。 ○小グループで話し合うことで、複数の視点から多くの気づき生まれるようにする。 ○大陸との関わりを意識付けるために、稲作がどこからどのようにして伝わったのかを考えさせる。 ○複数の考古学資料を提示することで、資料を関連付けて読み取る力を身に付けられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>吉野ヶ里遺跡での稲作跡から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環濠集落の様子 ・高床倉庫のねずみ返し ・石包丁 ・木製鋤、鍬 ・鉄製おの ・銅鐸 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○出土した武器の資料や弥生時代のむらの構造図などを関連付けて考えさせることで、農業の発達や争いや貧富の差を招いたことを想起できるようにする。
<p>3 大陸と日本の関わりについて、ここまで学習した生活の変化を踏まえて気付いたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大陸は、様々な新しいことを日本に伝えた進んだ国だった。 ・大陸との関わりによって、日本の生活がどんどん進んでいった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ここまでの学習を基に板書にある大陸との関わりに焦点をあてて記述させることで、大陸が与えた影響を意識付けさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【知識・技能】</p> <p>弥生時代に入って変化した社会や生活の特色を、大陸との関わりを通して理解することができる。</p> <p>(発言・ワークシート)</p> </div>
<p>4 課題に対するまとめとして、弥生文化の特色をキーワードで表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想されるキーワード： 定住、稲作、金属器、大陸、争い、国</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「大陸からのプレゼントで大成長！定住できる国へ」 ・「ひと刈りいこうぜ！～プロデューサーは大陸の国」 	<ul style="list-style-type: none"> ○キーワードとして板書の内容をつかうよう支援する。 ○資料や学習した歴史的事象などの、根拠に基づいた話し合いをさせるようにする。 ○グループ内で出た意見を共有したり比較したりさせることで、考えの深化を図る。 ○まとめを学級全体で共有することで、知識の一般化を図る。
<p>〈振り返り〉 ・弥生時代には、稲作や金属器などさまざまな新しいものが大陸から伝わったとわかった。</p> <p>・食料が安定したのは良いけれど、それで争いが起きるようになったのは、現代に似ているなど思った。</p>	

指導と評価の計画 社会 1年 単元「日本列島の誕生と大陸との交流」（全5時間計画）

目標	日本の国家が形成されていく過程について様々な諸資料を基に多面的・多角的に考察することを通して、東アジア世界の動きを背景に日本の社会がどのように変化していったのかを理解することができる。				
評価規準	<p>【知識・技能】 古代の人々の生活の様子や東アジア世界の動きについての知識を身に付け、歴史的遺跡や遺物から当時の社会的な特色を読み取り、社会の変化の様子を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の国家が形成される過程において、どのような影響や背景があったのかを多面的・多角的に考察し、根拠に基づき適切に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代の歴史的事象に関心をもち、当事者意識をもって主体的に活動に取り組み課題を追究しようとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	評価項目 (方法・観点)
つかむ	1	<p>◎日本列島の旧石器・新石器時代の人々の生活の様子から、日本が他国からどのような影響を受けて今日に至るのか、関心をもって追究しようとしている。</p> <p>日本列島に移り住んだ人々の生活の様子について気付いたことを話し合い、単元の課題を設定しよう。</p>	<p>○日本固有の言語や食べ物など、現代につながる日本のルーツについて追究したい課題を諸資料を基に話し合い、単元の課題を設定する。</p>	<p>☆世界の古代文明が起きた頃の日本はどんな様子だったのか。</p> <p>☆近くに中国文明があったのだから、真似しなかったのかな。</p> <p>☆日本がどうやって今のよう国に発展していったのか、その始まりが知りたい。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>日本の国家は、いつ、どのように始まったのかについて、疑問に思ったことや気付いたことを記述したり話し合ったりして、意欲的に追究することができる。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>
		単元の課題：中国をはじめとする東アジアの国々は、日本の古代国家にどのような影響を与えたのか。			
追究する	1 (本時)	<p>◎縄文文化と弥生文化を比較し、その変化の様子について考察することを通して、大陸との関わりを背景に稲作や金属器の伝来によって起きた弥生時代の特色を理解することができる。</p> <p>稲作の始まりにより、人々の生活はどのように変わっていったのだろう。</p>	<p>○縄文時代と弥生時代のむらの様子を表した資料から、変化を読み取りその原因にあったことが何なのかを話し合う。</p> <p>○遺跡や遺物資料を基に、稲作と金属器の伝来がもたらした生活の変化について理解し、「弥生時代のキャッチフレーズ」を考える。</p> <p>○農業の始まりがもたらした変化について話し合う。</p>	<p>☆弥生時代には、稲作や金属器などさまざまな新しいものが大陸から伝わったとわかった。</p> <p>☆食料が安定したのは良いけれど、それで争いが起きるようになったのは、現代に似ているなど思った。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>弥生時代の生活の様子と国家が誕生するあらしを、大陸との関わりを通して理解することができる。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
		<p>◎日本の国家が形成されていく過程のあらしを、東アジアとの関わりを通して捉え、日本にどのような影響を与えていったのかを考察することができる。</p> <p>日本におきた国は、どのようにして発展していったのだろう。</p>	<p>○「漢書」「後漢書」の部分要約や「金印」を基に、紀元前後の日本の様子について理解し、なぜ中国の史書に日本のことが記述されているのかを話し合う。</p> <p>○「魏志倭人伝」から、日本が国家として形成されつつある過程を理解し、なぜ日本が中国に使者を送っていたのか、考察したことを表現する。</p>	<p>☆日本の国は、かつては一つではなかったけれど、中国の助けを借りながら徐々に大きな国にまとまっていったのだと分かった。</p> <p>☆中国の歴史書に日本の国の事が書かれているのは、複数の国の中で一番であることを認めてもらいたい色々な日本の国の王が、盛んに使者を送ったからだったのだな。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>中国の史書を読み取ったり遺物を基に話し合ったりすることを通して、日本の国家が形成されていく過程について、根拠に基づき考察することができる。</p> <p>(発言、ワークシート)</p>

	1	<p>◎朝鮮半島との交流について知り、古墳の広がりを読み取ることを通して大和地方を中心に国内が統一されていった過程を理解することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>大和政権はどのように発展し、朝鮮半島の国とどのような交流があったのか。</p> </div>	<p>○前方後円墳の分布図や鉄刀・鉄剣から、大和政権の勢力範囲について話し合う。</p> <p>○古墳から出土した遺物を基に、古墳文化の特色を調べる。</p> <p>○この時代に古墳や漢字が刻まれた遺物が現れることと、渡来人が与えた影響との関連を諸資料を基に考察する。</p>	<p>☆前方後円墳の分布から、大和政権の大王が九州地方から関東地方までの豪族を従えていたことが分かる。</p> <p>☆中国や朝鮮半島の国々との交流は、日本の文化や技術などにとっても大きな影響を与えていたのだな。</p>	<p>【知識・技能】 大和政権の国内統一の過程や東アジアの国々との交流の様子を、歴史的遺物や遺跡などの資料を通して理解することができる。 (発言・ワークシート)</p>
まとめ	1	<p>◎東アジアの国々との交流は、日本の国家形成にどのような影響を及ぼしたのかを、これまで学習してきた知識を根拠に考察し、表現することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>東アジアの国々との交流がもたらした日本の国家への影響について考え、まとめよう。</p> </div>	<p>○単元の課題について、これまで学習してきたことを基にして自分の考えをまとめる。</p> <p>○考えたことを小グループで共有し、吟味したり比較したりすることで、自分の考えのさらに深化を図る。</p>	<p>☆日本は、中国や朝鮮半島の国々と古代から交流があり、農耕や金属器、仏教や漢字などさまざまなことを伝えられて発展してきたのだな。</p> <p>☆東アジアの国々との交流によって伝わった技術や文化の中には、今でも使われていることが多いと気付いた。</p> <p>☆東アジアとの交流で生活の仕方や政治の仕方にも大きな変化が起き、日本が一つにまとまっていたのだとわかった。</p>	<p>【思考・判断・表現】 単元を通して学習してきたことを基に、東アジアの国々との交流が日本の国家にもたらした様々な影響について根拠に基づき、まとめることができる。 (発言、ワークシート)</p>